

令和6年度 調布市立第七中学校 学校経営計画（学校長 山田 勝）

学校の教育目標	
校訓 「自尊・立志・感動」 ～徳・知・体の調和のとれた生徒の育成～ ○自尊 「徳」 自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒 ○立志 「知」 夢や希望を持ち、絶えず学び続ける生徒 ○感動 「体」 心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
【目指す学校像】 生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校 【目指す生徒像】 ○自尊 自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒 ○立志 夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒 ○感動 心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒	【目指す職員像】 ○愛情と理性を持って、生徒に本気で関わる職員 ○健康で自己の強みを理解し、生かすことのできる職員 ○指導の目的を共有し組織力の向上に努める職員
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○現状：生徒は意欲的に学習に取り組み、落ち着いて学校生活を送っている。地域住民はわが街の学校ととらえ支持してくれている。 ○課題：義務教育を託されている公立学校の責務を果たす。地域協働による校内外の教育環境の改善・充実を図る。校内運営組織の改善を図る。
中期的な経営目標	
① 「豊かな心」の育成：人権意識の醸成、トラブルを学びに変える指導の充実、「聴きあえる集団づくり」 ② 「確かな学力」の育成：「主体的・対話的で深い学び」の実践による3つの資質の向上 ③ 「健やかな体」の育成：体を鍛えることを通し健やかな精神の涵養できる場面の充実 ④ 「心の居場所作り」の推進：安心安全に学校生活を送ることができる環境と居場所の担保を前提とした生徒間の絆づくりの環境の提供 ⑤ 保護者・地域との連携推進：地域学校協働本部による教育活動の活性化、地域協働による校内外の教育環境の改善・充実 ⑥ 「はしうち教室」での教育実践の推進：新たな学びの場の提供、社会的な自立を目指した教育活動の実施 人・組 「チーム七中」、職場環境づくり「働き方改革の推進」、保護者・地域・関係機関との連携	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①トラブルを学びに変える指導の充実	①自己肯定感を高める魅力ある授業づくり	①健やかな精神の涵養できる場面の充実
②聴きあえる集団づくり	②学びに向かう力・場を意識した取組の充実	②生徒主体・主導の行事等の取組の推進
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①「自分を大切に思いやりの心を持っている」90%	①「夢や目標を持ち絶えず学び続けている」85%	①「心と体を鍛え健やかに成長している」85%
②「聴きあえる集団づくりができて」85%	②「できる喜びを実感できて」90%	②「行事等で集団の一員としてベストを尽くしている」90%
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 「心の居場所作り」の推進	5 保護者・地域との連携推進	6 「はしうち教室」での教育実践の推進
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①校内委員会を核とした生徒の不安感の把握と解消	① 地域学校協働本部との連携推進	① 新たな学びの場の提供
②SSルームを核とした個別支援の充実	② 地域とともにある学校づくりの推進	② 社会的な自立を目指した教育活動の実施
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①「充実した学校生活を送れている」90%	① 地域材を活用した自習教室年間 25 回開催	① 個々の生徒のニーズに応じた指導
②「多様性を含む個別支援ができて」80%	② ホラティア活動への参加生徒延500人以上	② 運営の見直しと改善の実践

人材育成・組織運営	
「チーム七中」	：組織の中で共通認識を持ち、全員が同じ指導をする。学年・分掌内での情報共有、主任・管理職への報告・相談。教育公務員としての自覚と責任感を常に意識し七中の教職員として誇りを持って職務にあたる。危機管理・対応を的確迅速にする。地域・保護者の教育ニーズに応えるとともに、説明責任を果たす。
職場環境づくり	：働き方改革を推進する。教職員相互の理解を図り、働きやすい職場環境を整える。
保護者・地域・関係機関との連携	：コミュニティスクールを柱とし、地域学校協働本部の取組を充実し地域とともにある学校づくりを進める。特色ある教育活動の実践・発信や適時適格な課題への対応を通して、保護者・地域との確固たる信頼関係を構築する。PTA、子ども家庭支援センター「すこやか」及び教育委員会等との連携強化に努め、生徒や地域の課題解決に努める。近隣小学校等との協働的な実践により教育活動の質的充実を図る。地域学校協働本部の意欲的な取り組みを奨励し、地域協働の学校づくりを実現する。